

株式会社明電舎（証券コード：6508）

個人投資家向け 事業のご案内

2026年1月
株式会社明電舎

業績や事業戦略については、

- ・ [IR説明資料](#)
- ・ [明電舎レポート](#)
- ・ [中期経営計画2027](#)

も併せてご参照ください。

1. 会社概要

商号	株式会社 明電舎 (MEIDENSHA CORPORATION)
設立年	1917 (大正6) 年6月1日 [創業1897 (明治30) 年12月22日]
代表者	代表取締役 執行役員社長 井上 晃夫
本社所在地	東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
資本金	170億7,000万円 (2025年3月31日現在)
売上高	3,011億100万円 (2024年度)
従業員数	連結 9,886名 単独 4,153名 (2025年3月31日現在)
連結子会社数	41社 (国内22社・海外19社) (2026年1月30日現在)
上場市場	東証プライム、名証プレミア (証券コード : 6508)
主要事業	電力インフラ事業、社会システム事業、産業電子モビリティ事業、 フィールドエンジニアリング事業

1. 会社概要 企業理念



企業使命
より豊かな未来をひらく
提供価値
お客様の安心と喜びのために

1. 会社概要 事業紹介

※売上高構成比率は、外部顧客に対する売上高から算出しており、セグメント間の取引を含んでいません。

主に社会インフラ・産業システム向けの機器・システム・サービスを展開

電力インフラ

グリーンで安全・安定な電力供給



開閉装置



変圧器



水力発電機



太陽光PCS



移動電源車

お客様：電力会社、一般電気事業者、
地方公営企業 等

社会システム

〈社会・電鉄・水システム〉

サステナブルな
インフラ構築に貢献



電鉄向け 遮断器・電力管理システム・架線検測装置



上下水総合監視システム・セラミック膜

お客様：鉄道会社、上下水道、
道路会社、放送局、自治体、
病院、民間工場 等

フィールドエンジニアリング

安全・安心な社会実現



カスタマーセンター



電気設備のメンテナンス

お客様：当社製品納入先 等

不動産・
その他

864億円
28.6%

495億円
16.4%

2024年度
売上高 3,011億円 (連結)

963億円
31.9%

720億円
23.9%



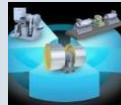
無人搬送車

産業電子モビリティ

最先端技術・モビリティ技術革新に貢献



EV・HEV用
駆動ユニット



自動車試験
システム



真空
コンデンサ



産業用モーター・
インバーター

お客様：自動車、エレベーター、鉄鋼、
半導体製造装置メーカー、物流 等

1. 会社概要 国内生産拠点

沼津（静岡県）

スイッチギヤ、大形変圧器、
システム装置、コンピュータ装置、
避雷器、電力変換装置、
可変速装置、電子装置



太田（群馬県）

大・中形発電機、
小水力発電設備、
動力計測応用設備、
発電制御装置など



名古屋（愛知県）

EV用モーター・インバーター 一体機、
フォークリフト用電装品、
無人搬送車、セラミック平膜

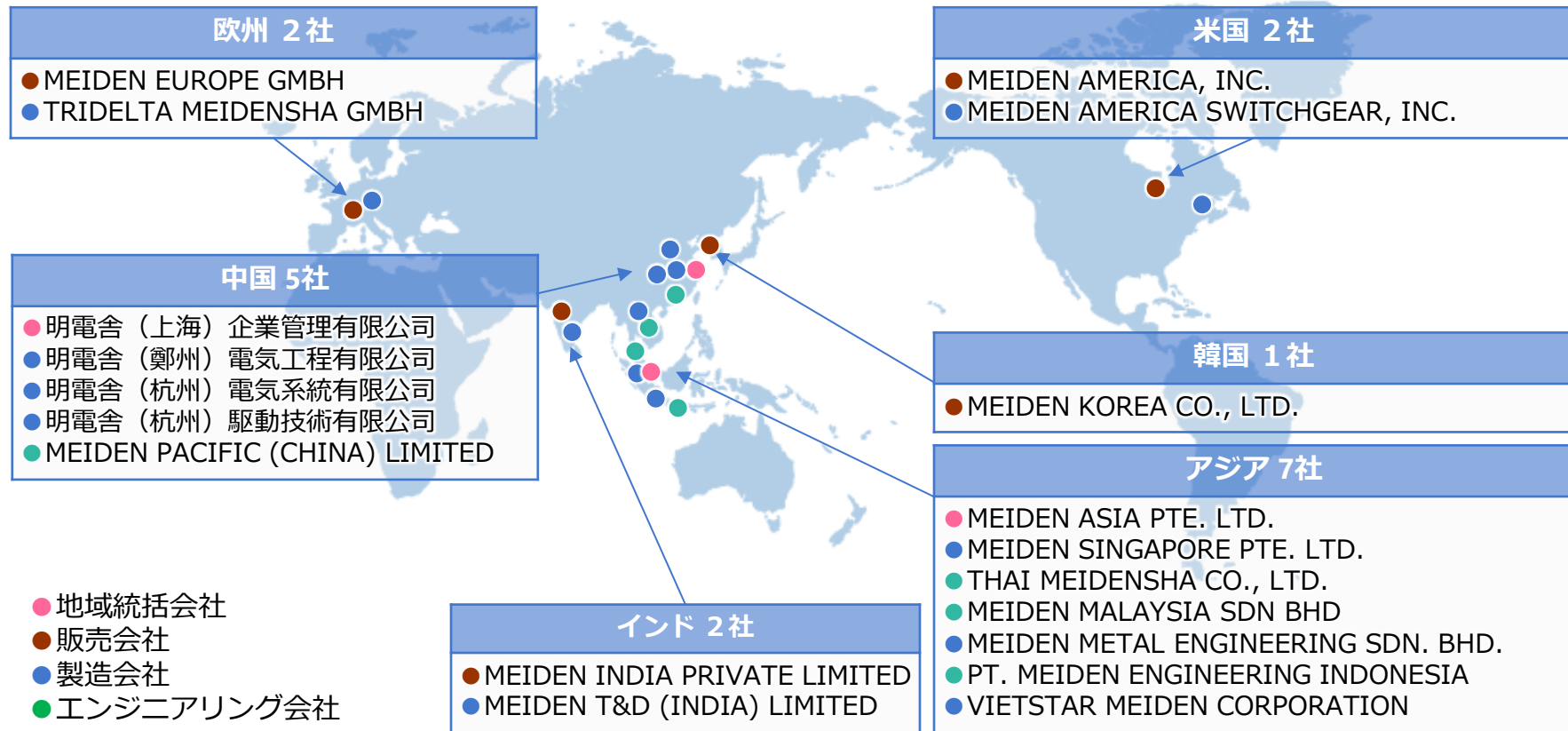


甲府（山梨県）

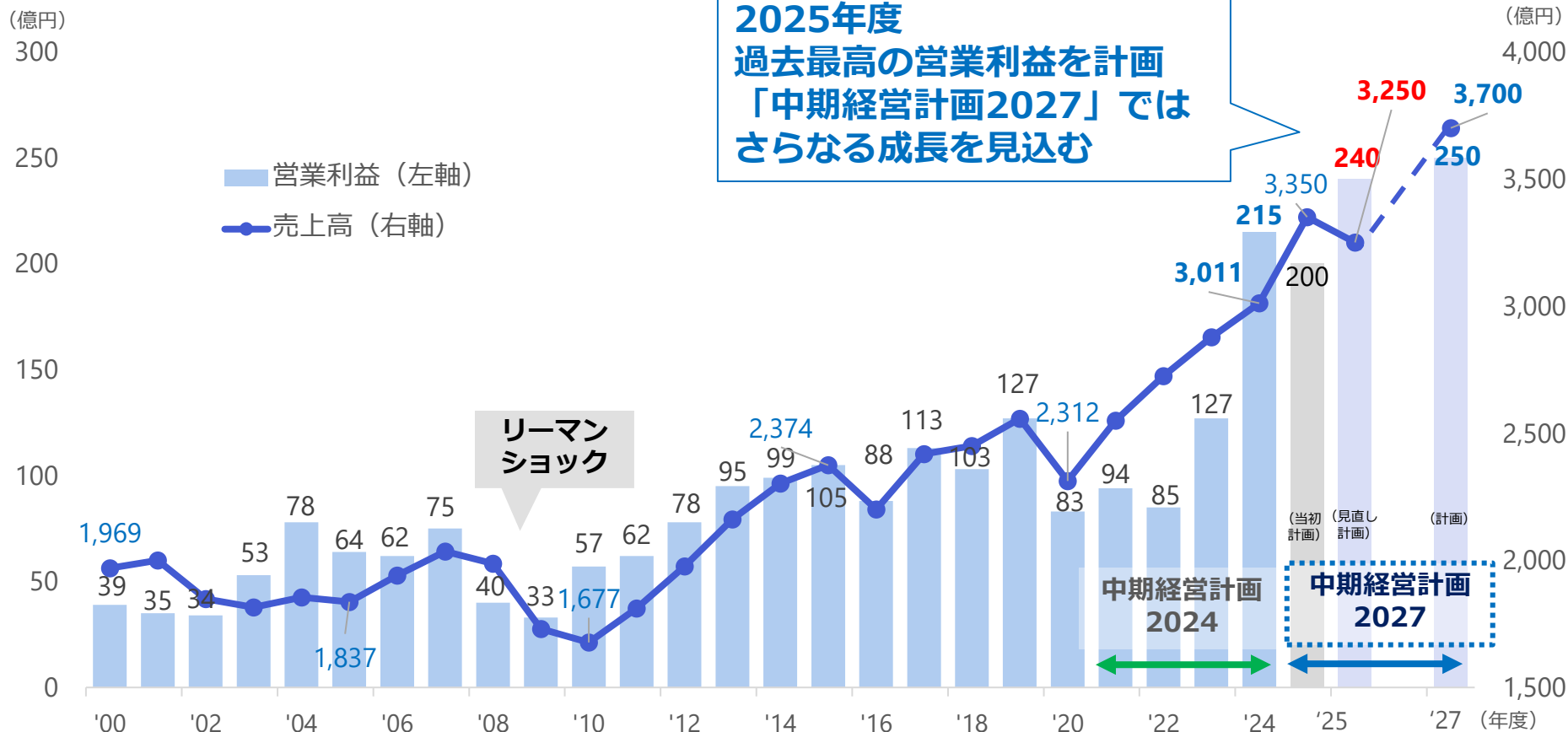
PMモーター、エレベータ用
モーター、ブラシレスモーター、
産業車両用モーター、
EV用モーター・ジェネレーター



1. 会社概要 海外拠点



1. 会社概要 業績推移



1. 会社概要 株価推移

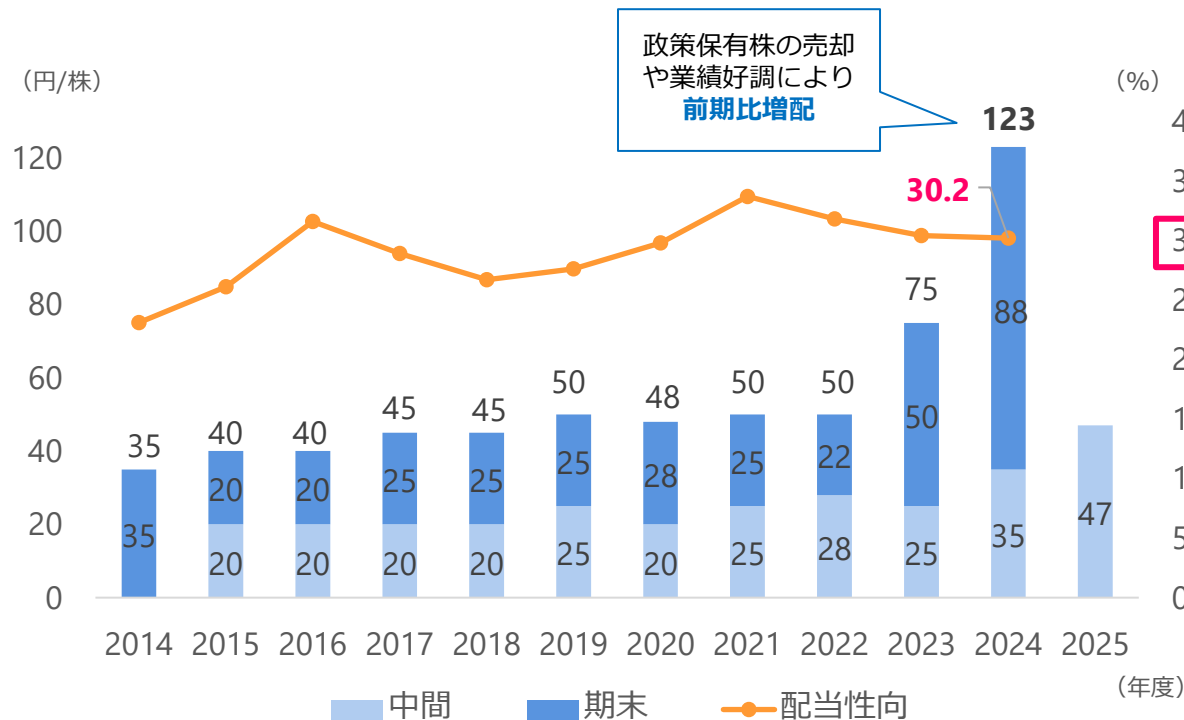
世界的な電力需要の高まりを受けて、投資家の期待値が高まっている
現在、バブル期以来の高値を更新中



1. 会社概要 配当情報

配当方針：安定的に配当性向30%レベルを維持

(社名50音順)



当社のカバレッジアナリスト

SMBC日興証券	桂 竜輔様
SBI証券	氏原 義裕様
ゴールドマン・サックス証券	原田 亮様
シティグループ証券	藤原 毅郎様
ジェフリーズ証券	福原 捷様
大和証券	大川 淳士様
丸三証券	松浦 勇佑様
※みずほ証券	田中 健士様

※の1社は、目標株価・投資評価の設定なし

2. 中期経営計画2027

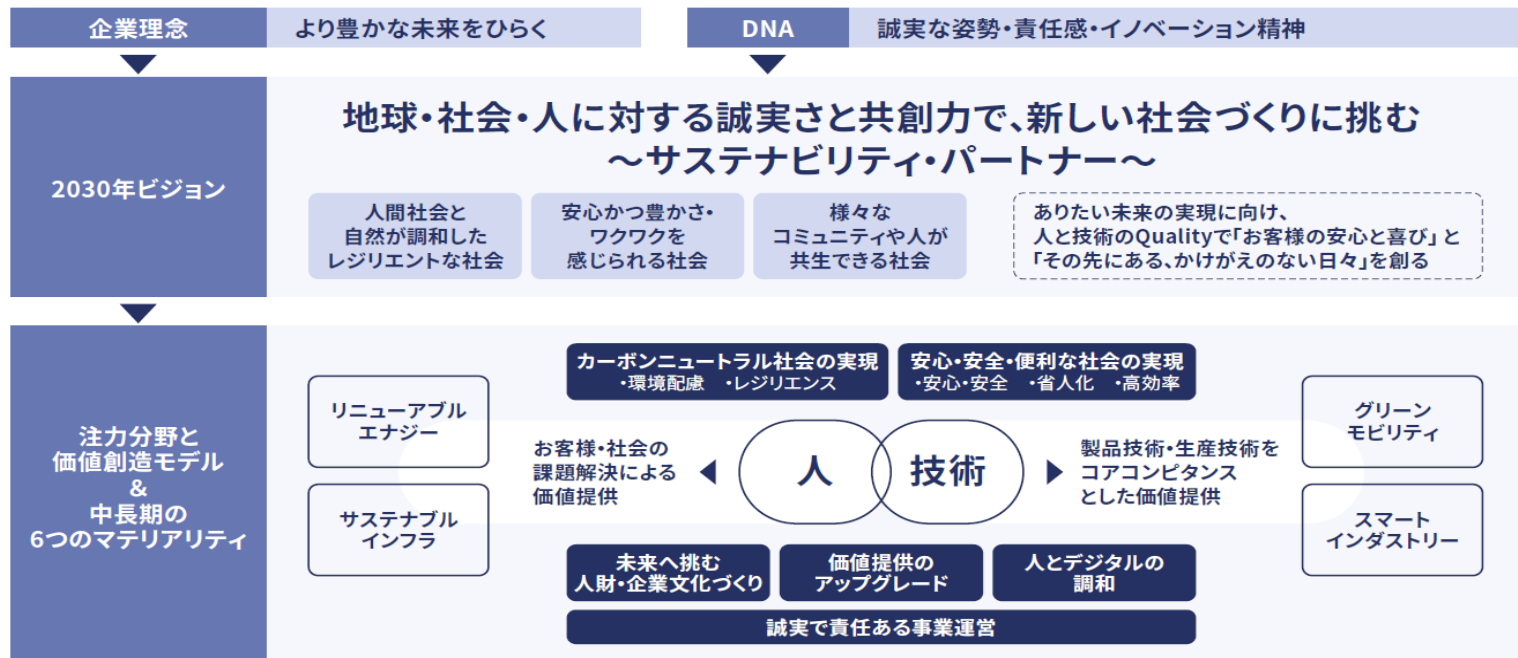
中期経営計画2027 抜粋

2. 中期経営計画2027 (価値創造プロセス)

2 中期経営計画2027全体概要 (1) ビジョン達成に向けた価値創造プロセス

MEIDEN
Quality connecting the next

持続的でより豊かな社会の構築に向け、技術と人財で、新たな価値を創造し続ける



2. 中期経営計画2027（全体像）

2 中期経営計画2027全体概要 （2）価値創造を実現するための戦略

MEIDEN
Quality connecting the next

ビジョン達成に向けた『ニーズに対応した着実な成長＋未来に向けた変化・挑戦』の3年



2. 中期経営計画2027 (成長戦略 1 製品)

2 中期経営計画2027全体概要 (3) 成長戦略 1 製品

MEIDEN
Quality connecting the next

- ・継続的な国内外の生産能力増強
- ・競争力のある製品・システム、生産性の高いものづくり

展開事項 1

電力、電子分野等での 生産能力増設・増強

国内:変電・電子等の設備増設

- ・真空コンデンサ増強
- ・電鉄向け設備増強
- ・変圧器 工場の増設
(稼働2028年度以降～)

設備投資 **130億円以上**



海外:拠点再構築

- ・シンガポール:工場移転
- ・米国:真空遮断器生産増強
- ・インド:変圧器生産増強
- ・ドイツ:避雷器生産増強

設備投資 **130億円以上**



展開事項 2

特長技術を活かした 製品・システムのアップデート

環境対応製品の強化

- ・真空インタラプタ、真空遮断器の大容量化
- ・EV関連製品の更なる
小型化・高効率化
- ・建機電動化
コンポーネント



高度化・省人化技術の強化

- ・半導体製造装置向け
パルス電源開発
- ・スマート保安
- ・再エネ負荷予測



展開事項 3

DX(データ基盤整備・活用)を加速し、 生産性向上・リードタイム削減

ものづくりのあり方に合わせた DX・生産プロセス改善

システム系・機器系

- ・「受注～出荷」の生産情報基盤を整備、
生産管理自動化・設計合理化
- ・設計/試験データを連携し、
一部試験の自動化

量産系

- ・設備状況把握による
予兆保全・稼働率向上
- ・自動化設備導入・混流生産

生産能力
25%向上

リードタイム
50%削減

2. 中期経営計画2027 (成長戦略 2 事業)

2 中期経営計画2027全体概要 (3) 成長戦略 2 事業

MEIDEN
Quality connecting the next

- ・新たに需要が見込まれる領域・海外市場の積極的な開拓
- ・データ駆動型の価値創造、機器システム販売を超えたサービス事業の展開

展開事項 1

変電・電鉄、半導体関連での
海外新市場の開拓

海外インフラ

- ・欧州環境規制加速
(2026年:SF6規制)
- ・東南・南アジア地域での
大型鉄道プロジェクト
増加

環境対応製品や信頼性で
市場シェア拡大

将来的な
現地生産・協業検討

半導体関連

- ・微細化・積層化に伴う
新たな市場機会
- ・半導体装置メーカーの
開発競争激化

半導体関連製品
(真空コンデンサ等)の
北米拡販

需要家に近い
研究開発拠点の設立

展開事項 2

市場環境変化に合わせた、
価値提供手段の多角化

データ活用ビジネス加速

- ・顧客体験価値を追求したデータ活用ビジネス
- ・既設機器の情報をクラウドに集約し、O&M支援や
オフリングビジネスに活用・展開



事業領域の拡大

水インフラ

水インフラ総合エンジニアリング会社へ
(ワンストップ体制構築(機器工事～運転維持管理～保守))

モビリティT&S

EV試験サービスプロバイダの地位確立

電鉄

スマートコンパクトシティ(まちづくり)への参画

水 力

機器売りからの脱却、サービスプロバイダへの進化

2. 中期経営計画2027 (成長戦略3 技術)

2 中期経営計画2027全体概要 (3) 成長戦略3 技術

MEIDEN
Quality connecting the next

ありたい未来を描き、新たなコア技術を獲得しながら価値を共創する「指向型研究」

展開事項：指向型研究の加速

事業グループの戦略 (~2030年)

電力インフラ

環境対応製品強化・再エネO&M

社会システム

O&M高度化・省人化・ワンストップ

産業電子モビリティ・EV

更なる電動化・半導体プロセス革新

フィールドエンジニアリング

スマート保安・半導体装置保守

新規事業 (MASTプロジェクト)

新規事業化, チャレンジ文化醸成

シナリオ
プランニング

指向型研究 (~2040年)

電気のチカラで
自然と人が調和した
エレクトロピア※を拓く

※エレクトロピア=電気×ユートピア



注力する技術の方向性3本柱

源
POWER

直流&高周波

電気が超安定・超利便につながる
フェーズフリー電力供給を極める

化
CHEMI

パワーケミトロンクス

電気化学×パワーエレクトロニクスで
ネイチャーポジティブ(自然再興)へ

知
CYBER

デジタルツインO&M

電脳・サイバーと融合したものづくり
&スマートインフラへ進化する

指向型研究テーマの一例：

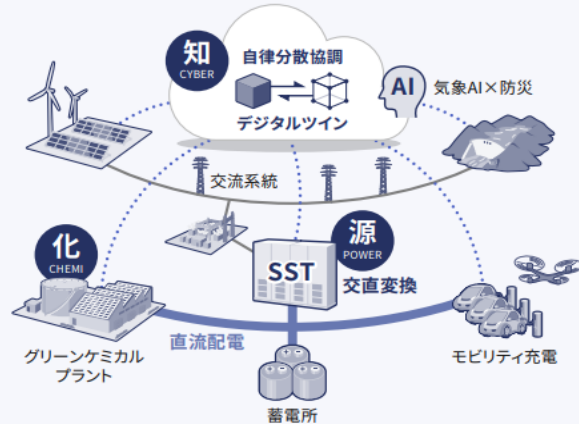
自律分散協調型 交直混在システム&デジタルツインEMS

シナリオ

再エネ&蓄エネ普及により、交流基幹系統に
分散型直流グリッド&直流設備が混在化

提供価値

モノ：交直変換SST※、大容量DC/DC変換器
コト：自律分散&デジタルツインで省人化・効率化



※SST (Solid State Transformer)...パワー半導体回路や高周波変圧器を内蔵した電子制御式変圧器

2. 中期経営計画2027 (経営指標)

*計画為替レート：140円/USD、ROIC：税引き後営業利益/(有利子負債＋自己資本)、
Scope1,2,3：2019年度実績比、eNPS：明電舎単独＋国内関係会社（イームル工業(株)、
明電ユニバーサルサービス(株)を除く）

財務

	2024年度実績	2025年度見直し計画	2027年度計画
受注高	3,835億円	3,450億円	3,800億円
売上高	3,011億円	3,250億円	3,700億円
営業利益	215億円	240億円	250億円
ROE	13.9%	－	10.0%
ROIC	8.2%	－	8.0%
ネットD/Eレシオ	0.10倍	－	0.20~0.30倍
設備投資	119億円	3か年累計700億円（うち成長・DX投資350億円）	
研究開発費	112億円	3か年累計430億円	

非財務

Scope1+2	△15%	△30%	△40%
Scope3	△11%(カテゴリ11)	△20%(全カテゴリ)	
eNPS	-69.0%	-65.0%	
女性役員クラス（プロパー）	1名	3名以上(2030年度)	
外国人現法社長	2名	5名以上（2030年度）	

2. 中期経営計画2027（資本政策）

- ◆ ネットD/Eレシオ0.20~0.30倍を目安とし、大型投資に向けた資本力増強を進める
- ◆ 成長期待の大きい事業に『投資』を集中。収益性・成長性で案件評価、効率的に投資を推進
- ◆ 資本効率の向上を図るため、事業と関連性の低い資産を縮減



価値を創出し、得られたキャッシュを再投資することで、更なる価値を創出していく

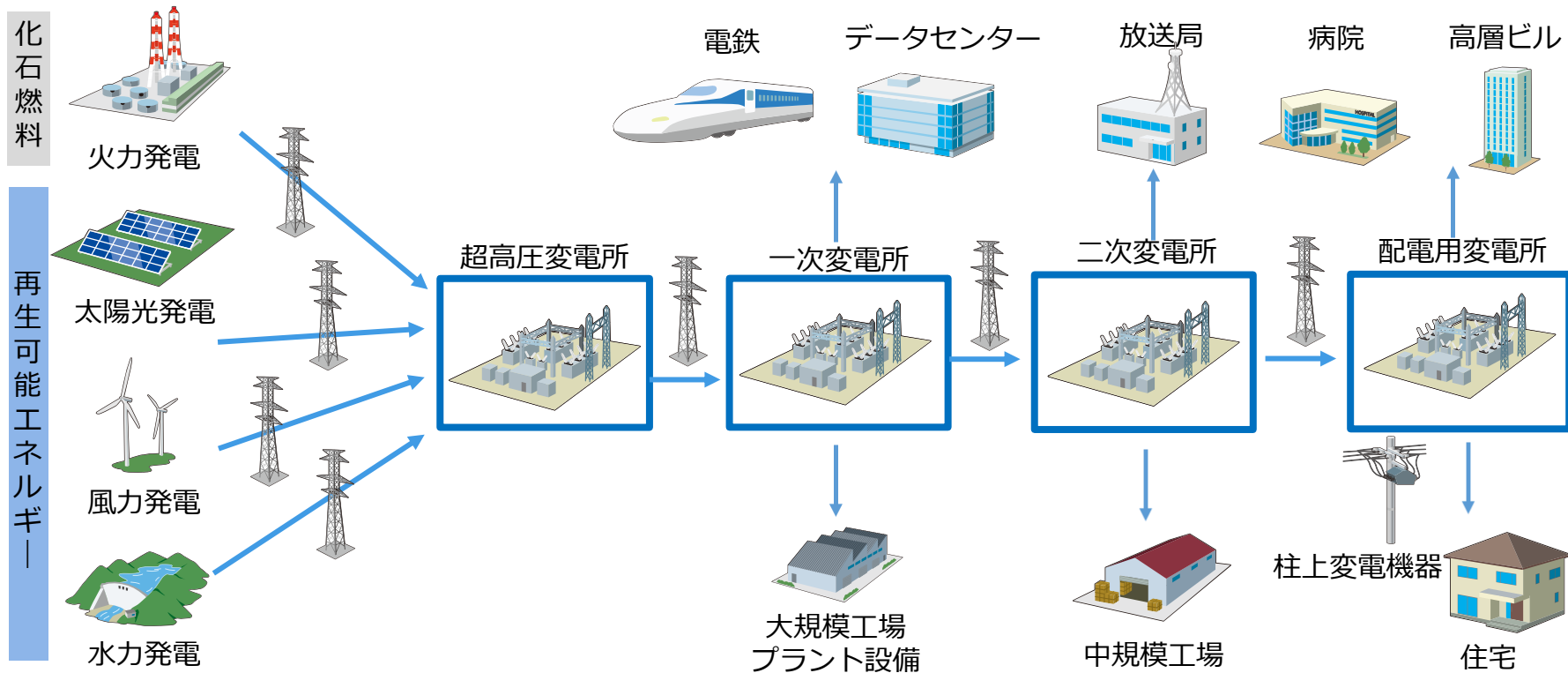
3. 当社の強み

電力インフラ

活況な電力インフラ市場

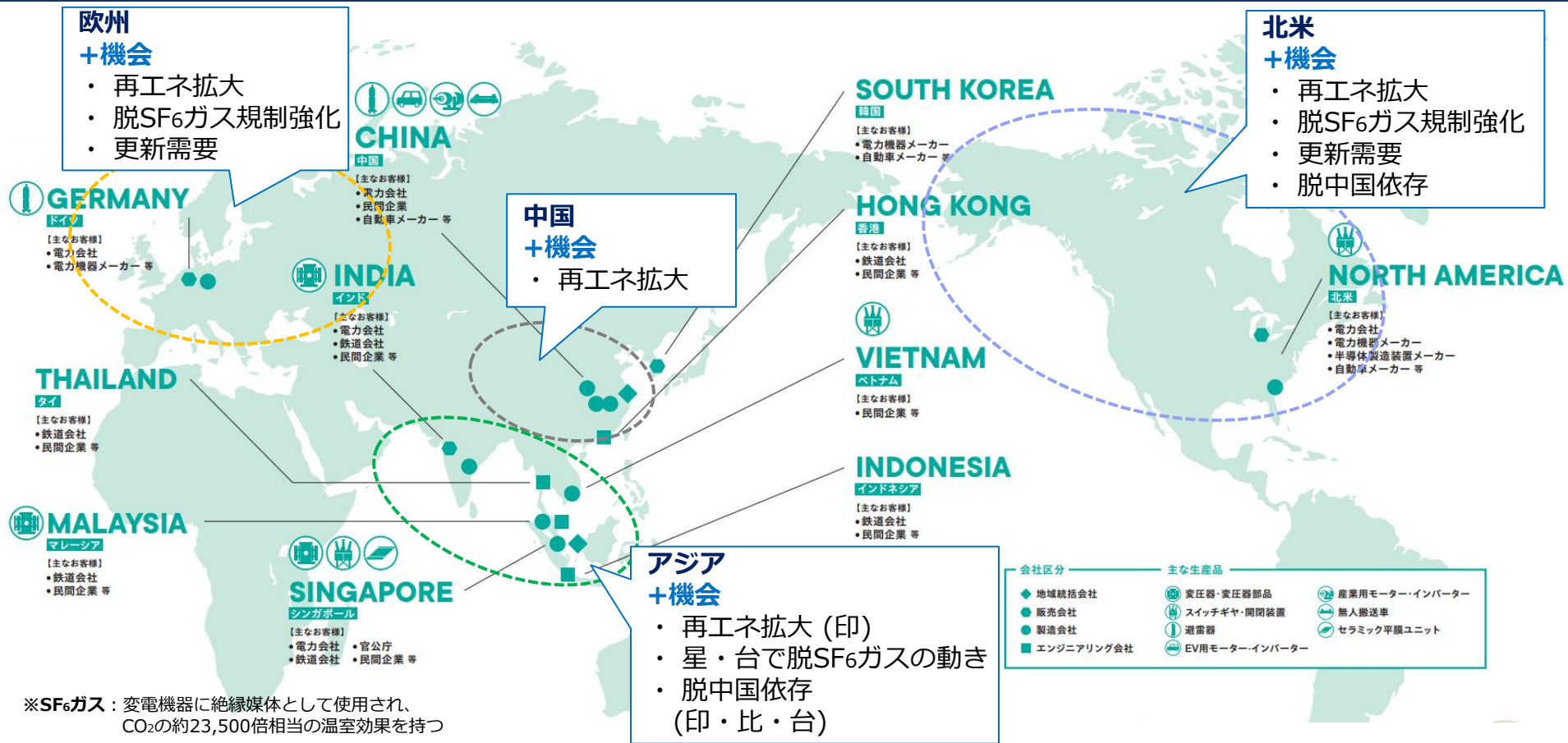
3. 当社の強み 活況な電力インフラ市場【当社の役割】

発電所から各需要家へ電力を安全かつ安定的にお届け



3. 当社の強み

活況な電力インフラ市場【海外：機会】



3. 当社の強み 活況な電力インフラ市場【海外：製品】

海外市場での長年の「信頼と実績」の強みを生かし、
成長が期待される製品群を中心に売上が拡大基調

開閉器

販売開始 1955年



環境気運の高まりで環境負荷
の低い変電製品に商機

北米での72.5kV遮断器シェア
約**20**%

変圧器

販売開始 1905年



人口増・再エネ普及・データ
センター増等で電力需要増加

インドでの再エネ用変圧器
シェア1位 約**23**%

避雷器

販売開始 1955年



心臓部品の酸化亜鉛素子は約
70か国に2,000万個以上納入

2014年には避雷器開発寄与で
「IEEEマイルストーン」 授与

3. 当社の強み 今後の成長ドライバーまとめ

①海外事業（電力インフラ事業）

⇒北米、欧州、インド市場における成長

②カーボンニュートラルの追い風（電力インフラ事業）

⇒送配電網整備、再エネ事業の需要増

③電子機器事業（産業電子モビリティ事業）

⇒半導体製造装置向けにユニークな部品を供給

市況変動のブレに強い
フィールドエンジニアリング事業が利益を下支え



インド現地法人
変圧器製造



秋田県三種町
八竜風力発電所



半導体製造装置向け
真空コンデンサ

MEIDEN

Quality connecting the next

注意事項

本資料に記述されている業績ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含みます。

そのため、実際の業績は当社の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。